

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳）

6年1組	指導者	林 美由紀	主題名	みんなの自由とは
教材名	自由な公園		内容項目	善悪の判断、自律、自由と責任
ねらい	自由な公園について、さまざまな利用者の気持ちを考えながら公園の使い方を話し合う活動を通して、みんなの自由を尊重されるように自律的に判断し、責任のある行動をとろうとする心情を育てる。			
評価の着眼点	<p>【多面的・多角的な見方】 公園を利用する者（子ども・高齢者・若者・動物・親子など）それぞれの立場で、公園をよりよく使うためには、どうしたらよいかを考えているか。</p> <p>【自分との関わり】 みんなの自由が尊重されるために、自分にはどんなことができるのかを自分自身の生活と結びつけて考えているか。</p>			
学習過程	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「めあて」 みんなが自由に過ごすために大切なことについて考えよう</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">【中心発問】 みんなが気持ちよく公園を使うには、どうしたらよいか。</div> <p>「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させるための手立て」 ○Cの場面で、「ぼく」や楽器を演奏したい人たちが困っている理由を問いかける。 ・ボール遊びをすることができなくなった。 ・楽器の演奏など、大きい音を出す行為は禁止になった。 ・ルール違反をした人に罰金のきまりができた。 ・自由を守られた人と制限された人がいる。</p> <p>「道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めるための手立て」 ○3つの場面（A、B、C）での公園を利用する者それぞれの立場の気持ちの変化をハートメーター（ピンク・ブルー）を用いて考えさせる。 ・ボールを使う人はCの場面ではブルー ・小さい子ども+たちはCの場面ではピンク ・ボールを使える日や時間帯を決めれば、ボールを使う人たちも納得してピンクになる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「振り返り」 今日の学習で、みんなが自由に過ごすために大切なことは何かな。</div>			